



# 学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和6年4月26日

第2号



「いつでも どこでも だれにでも」あいさつができる子どもに

校長 大野 幸二

毎朝、開門と共に元気よく登校してくる子どもたち。二つの昇降口から登校してくる子どもたちと一日の始まりです。元気で明るい「おはようございます。」の挨拶に、こちらでも元気をもらいます。

## ○あいさつ（～相察～）とは「相手を察するきもち」

本年度の入学式において、校長からの祝辞を話した際に、「学校は小さな社会であり、集団生活の中で人とかかわり方を学ぶ場です。」「それゆえ、相手を察する気持ちである“あいさつ”は、コミュニケーション力の基本となります。」というお話をさせていただきました。

**【あいさつ】のポイント ⇒ 【あ】かるく 【い】つでも 【さ】きに 【つ】づけて**

## ○あいさつが大事だと思える、その心が大事

児童会の話し合いにより、今年度の朝比奈小における重点目標の一つとして「自分から あいさつ」が掲げられました。本校では、例年、児童会が中心となり各クラスが輪番で正門や昇降口付近で「あいさつ運動」を行っています。昨年度は、明るく元気にあいさつしていた人を「あいさつ名人」として表彰しています。

<R5（1年生）：わたしたちも やってみよう！>

<R6（児童会）：あいさつ運動 はじめました！>



## ○キッズパトロール隊・PTAによる「あいさつ運動」の推進

朝比奈小の学区域では、地域の有志で構成されているキッズパトロール隊の皆様が、約20年も前から子ども達の登下校時に通学路で明るく元気に声をかけてくださっています。また、交通量の多い危険個所では、PTAの皆様と連携し、安全を見守ってくださいます。長年に渡り、あいさつ運動を広げると同時に子ども達の安全を見守ってくださっている皆様にご心より感謝を申し上げます。

## ○あいさつは、自分を変え、周りも変える。（リーダー・イン・ミー）

「意識が変われば行動が変わり、習慣も変わる。習慣が変われば人格が変わり、やがて運命が変わる。」

アメリカのメジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手は、野球の成績だけでなく人間性も世界中から評価されています。彼が高校生の時に書いた有名な「大谷ノート」には、野球の目標だけでなく、「あいさつをする」「ごみを拾う」「人に優しく」など、人間的成長を促す目標が書かれています。

あいさつには自分を変える力があります。自分が変われば周りの世界も開けてきます。なぜなら、人とかかわり方が変わるからです。朝比奈小の子ども達が、今以上にあいさつの大切さを感じとり、周りの人たちとより良い関係を築けるよう、地域や保護者の皆様と共に、引き続き支援にあたってまいります。